

定義

平行四辺形とは
2組の対辺がそれぞれ
平行な四角形のことである。

定理

平行四辺形の性質

- ① 平行四辺形では2組の対辺はそれぞれ等しい。
- ② 平行四辺形では2組の対角はそれぞれ等しい。
- ③ 平行四辺形では対角線はそれぞれの中点で交わる。

平行四辺形になるための条件は
基本的には平行四辺形の性質の
逆を考えたものである。

平行四辺形ならば〇〇が成り立つ。



四角形において〇〇が
成り立つならば平行四辺形である。

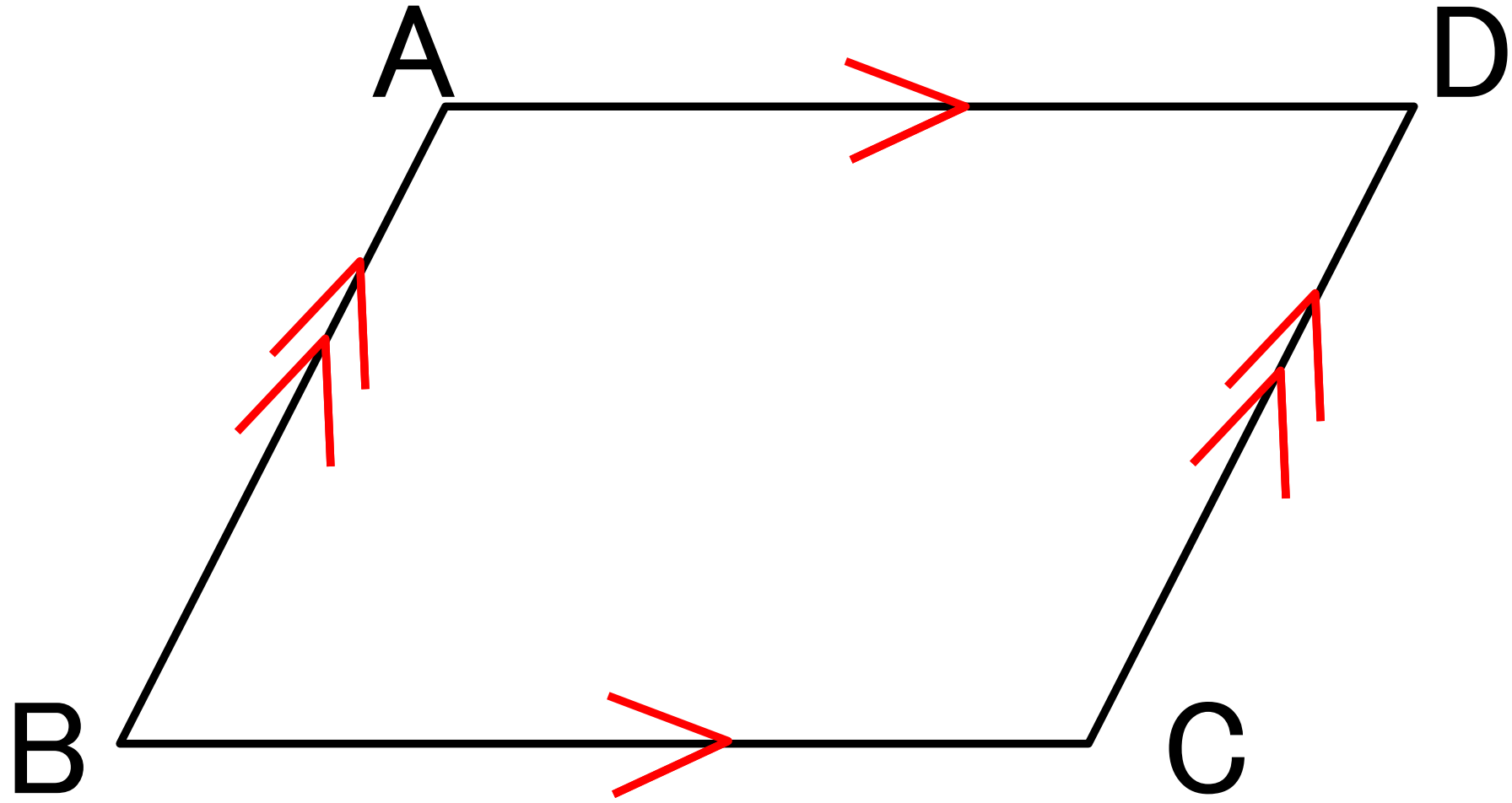
定理

平行四辺形になるための条件

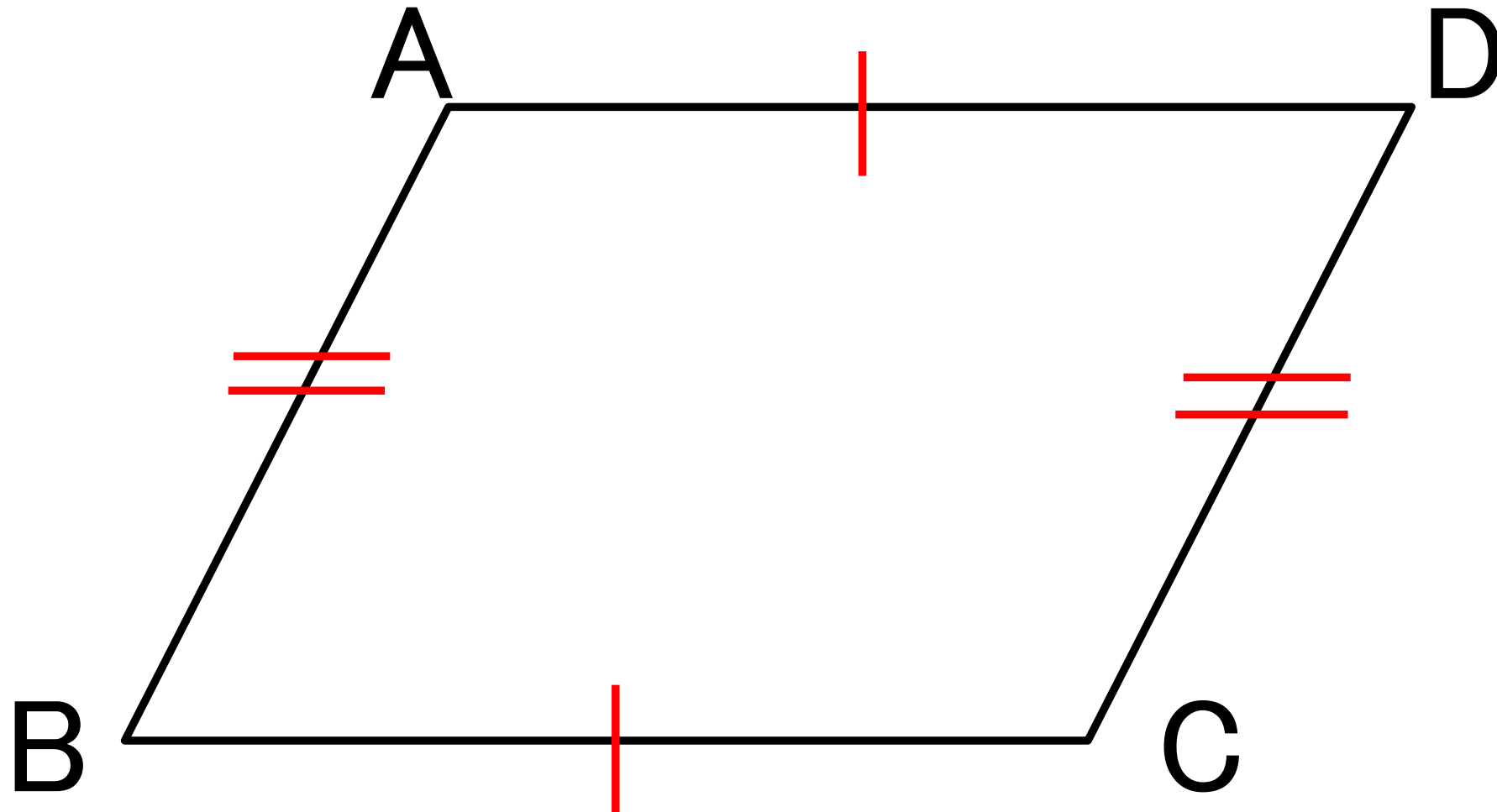
- ① 2組の対辺がそれぞれ平行である。
- ② 2組の対辺がそれぞれ等しい。
- ③ 2組の対角がそれぞれ等しい。
- ④ 対角線がそれぞれの中点で交わる。
- ⑤ 1組の対辺が平行でその長さが等しい。

① 2組の対辺がそれぞれ平行である。

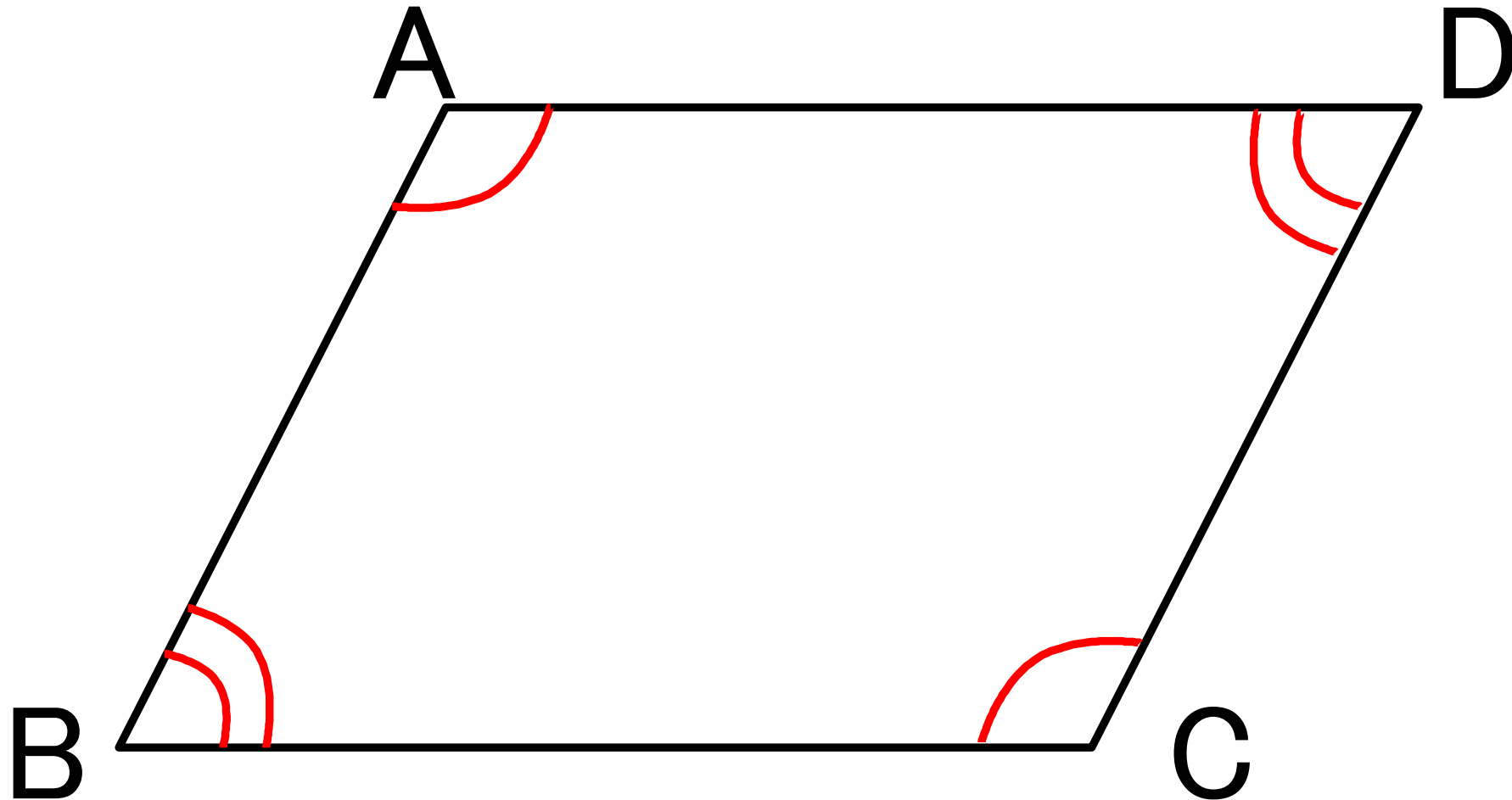
定義



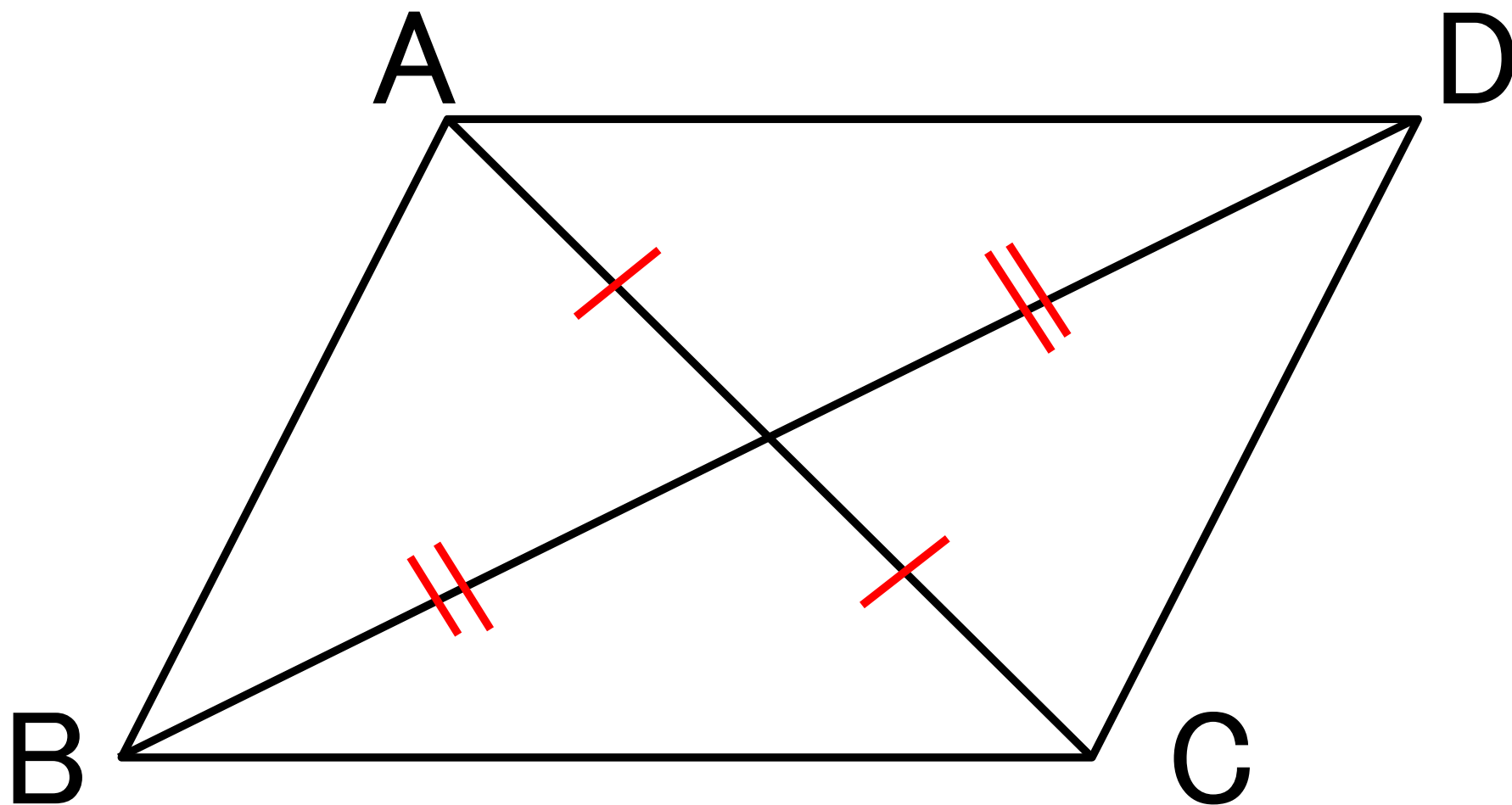
② 2組の対辺がそれぞれ等しい。



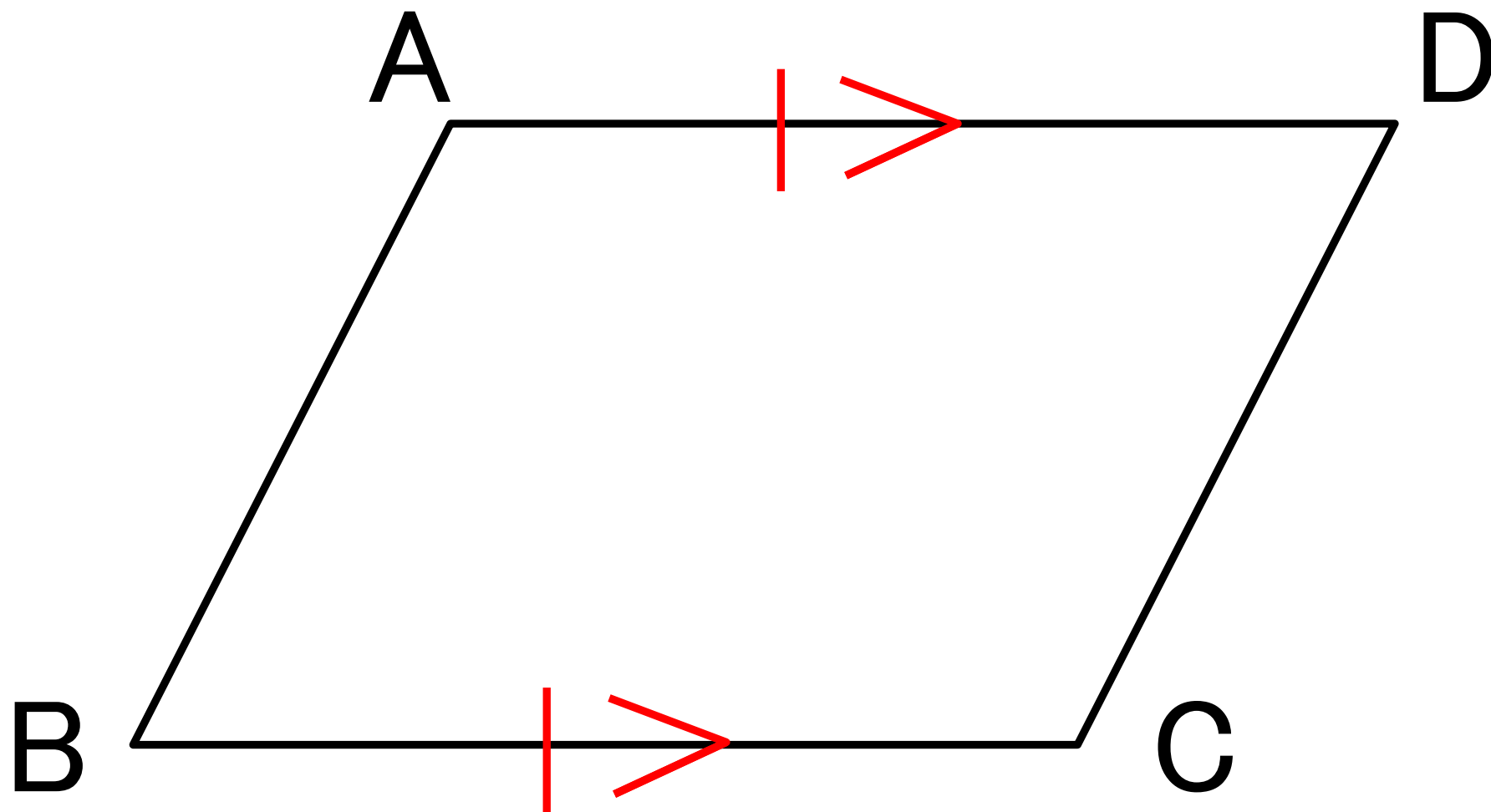
③ 2組の対角がそれぞれ等しい。



④対角線がそれぞれの中点で交わる。



⑤ 1組の対辺が平行でその長さが等しい。



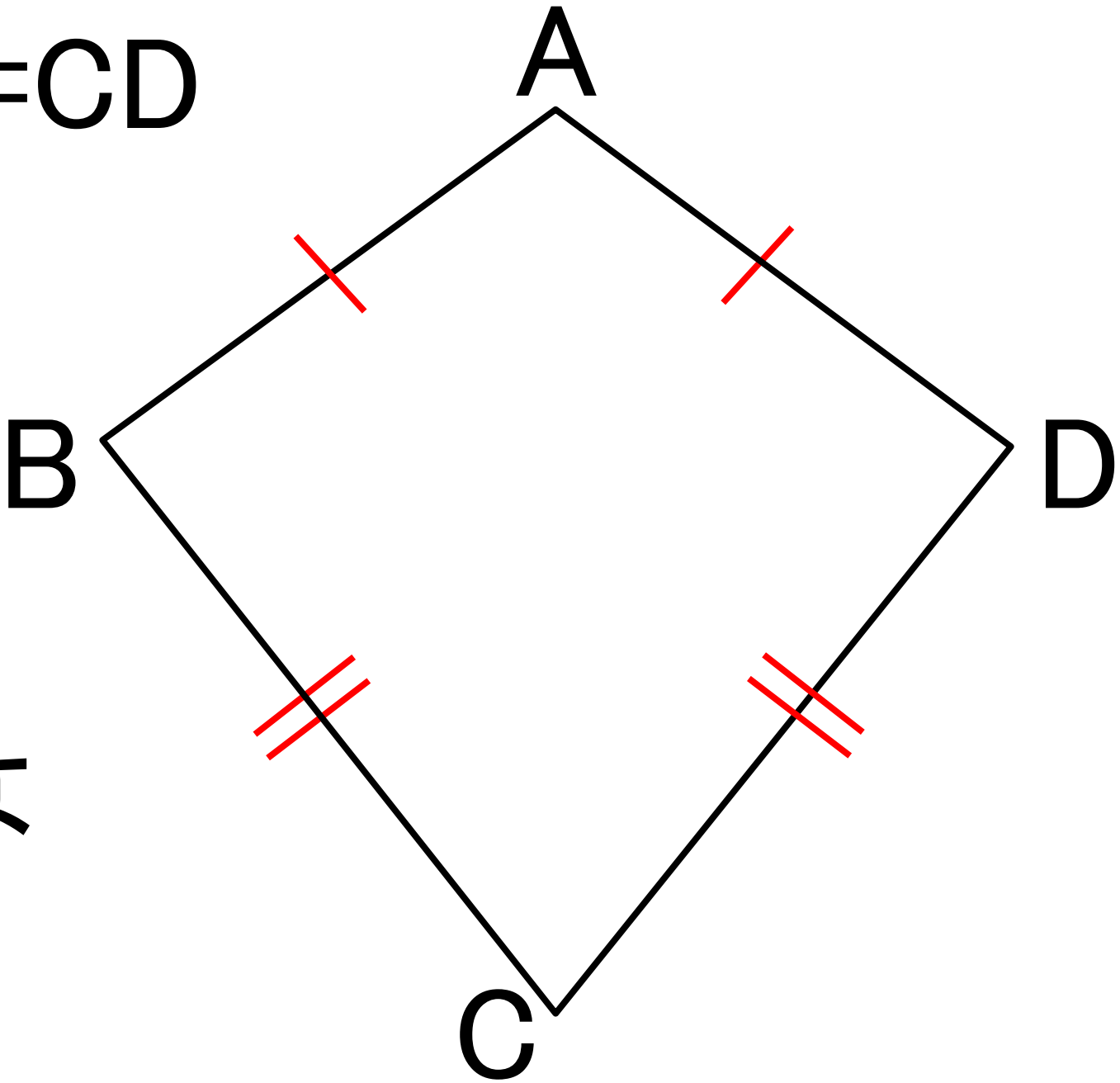
次の四角形ABCDで、いつでも
平行四辺形になるものはどれか？

① $BA=AD, BC=CD$

② $AB=DC, AD // BC$

③ $\angle A = \angle C, \angle B = \angle D$

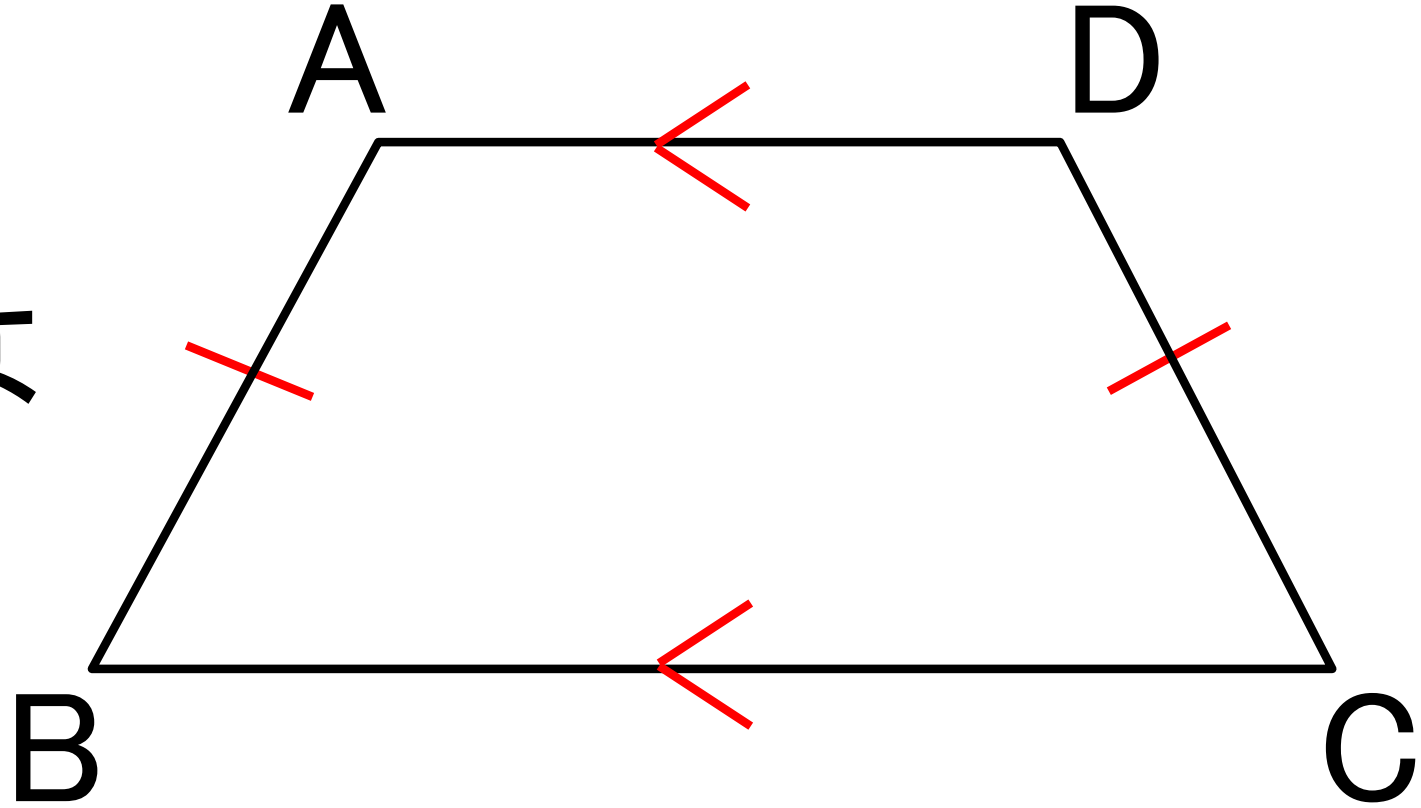
① $BA = AD, BC = CD$



必ずしも
平行四辺形とは
ならない

② $AB=DC$, $AD \parallel BC$

必ずしも
平行四辺形とは
ならない



③ $\angle A = \angle C, \angle B = \angle D$

条件に
あてはまるので
平行四辺形

